



一人一人が主役！ みんなでつくった学芸会

常磐っ子の一人一人が主役になり、子供たちみんなが輝くにはどんな劇が学級に適しているのか。担任の先生たちはみんな



な、夏休み中にいろいろな劇の台本を読んだり、ミュージカルや演劇の映像を観たりしながら、子供たちと一緒にみんなで作っていこうと考えていました。そして、2学期が



始まって間もなく台本を配り、配役や伴奏者を決めて、学芸会の練習がスタートしました。子供たちは自分の役が決まると、まずは自分の台詞を覚えることから始まり、続いて役柄の心情を考え

ながら、気持ちを込めて言葉や表情、動作で表現するよう努力していました。9月下旬には体育館の舞台前に合唱台が設置され、舞台配置や大道具、小道具、照明、音響などを効果的に使いながら劇や合唱が



よりよくなるように創り上げていきました。その間、自分たちの劇を見に来てくださる保護者や地域、来賓の方々に感動していただくために、学級で話し合ったり、アドバイスしあったりし、時には家庭でおうちの

人に励ましてもらいながら練習を重ね、自分たちの思い描く劇に近づけていきました。音楽部の子たちも合唱や合奏が日に日に上達しているのがわかりました。そして迎えた学芸会



下見の会。ほぼ完成に近い学級と、まだまだ劇のストーリーや合唱のメロディーが伝わらない学級とまちまちでした。そこからさらに見つかった課題を修正して練習をし、

どの学級も音楽部も着実に良くなっていきました。子供たち同士でお互いの劇を観合う校内学芸会では、自信をもって演技したり歌声を響かせたりしながら、自分たちの思いを全力で伝える姿がたくさん見られました。



た。楽しい場面では笑い声が会場内に響き、感動的な場面では、真剣な眼差しで演者の姿に見入る子がたくさんいました。そして、劇や合唱を磨き上げて臨んだ26日(土)の学芸会本番。仲間と思いを一つにし、どの子も

自分のもっている力をすべて出し切り、一人一人が主役として輝いていました。劇や合唱、合奏を観られた保護者や地域、来賓の方々が、満足げな表情を見せたり、感動の涙を流されたりする姿が見られ、みんなで作った常磐っ子の学芸会の成功を感じました。ここまでたくさんの苦労がありました。仲間と一緒にたくさんの壁を乗り越えてきたからこそ、満足感や達成感を得られたのだと思います。ご家庭での様々なサポートにも心より感謝いたします。



一人一人が主役となり、みんなでつくり上げた最高の学芸会をありがとう！